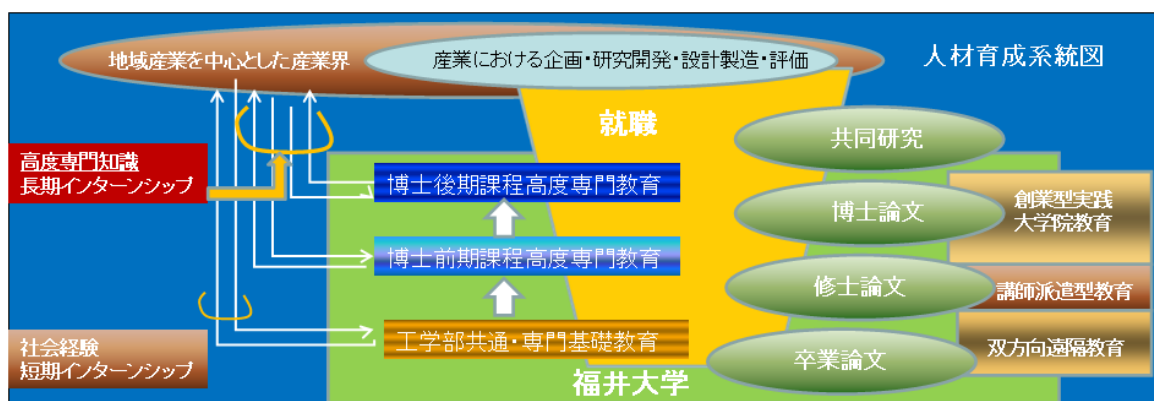


**産学連携による実践型人材育成事業 ―長期インターンシップ・プログラム開発―  
最終評価結果**

大 学 名	福井大学
プロジェクト名称	地域産業との連携による派遣型高度人材育成
事業責任者	工学研究科教授 長谷 博行

**事業概要**

本事業は、産業の取り組みを理解し、自主的に問題を解決する素養のある、総合的な見識をもった高度専門人材を育成することを目的としている。大学院生を対象に、産業や研究機関の現場での派遣教育の実践を通して、①与えられた課題から自発的に問題を提起する能力、②目標を設定して専門性を生かして自主的に解決する能力、③異なる分野の技術を理解し、利用・組み合わせる能力などの育成を図る取組である。



詳細については、 <http://www.cgse.eng.u-fukui.ac.jp/liti/index.html> を参照。

**最終評価結果**

(総合評価) A : 所期の計画と同等の取組が行われた

**コメント**

《優れた点》

- ・ 本プログラムによる育成人材像が明示されていること、その中で地域振興の重要な一環としての地域産業発展を目指して、派遣先として地元企業を主対象に選定し協力を求めた結果、参加学生数の半分が地元企業で実習した点が評価できる。
- ・ 本事業に参加した学生がプログラムに関連する企業等に多く就職していることや、地元企業への学生の就職比率が上昇している点が評価できるので、今後も継続してフォローアップして欲しい。
- ・ 受入先の企業を福井県内のみならず隣県の石川県まで拡充した点が工夫されている。
- ・ 受入先の企業にとっても若手社員の指導力の向上につながる等、学生・大学・企業それぞれにメリットが生まれていると評価されている点は、今後の取組を進めていく上でもプラスである。

《今後に期待する点》

- ・ 参加した学生の分野に偏りがあり、年間 10 名の参加者数は、1 学年 250 名という規模からみて適正かどうか検証が必要である。大学院全体への波及や全学的に本プログラムの意義がより一層理解されるよう努めて欲しい。
- ・ 近隣の県も含めた産業界との連携を拡大し、より一層の取組の充実に努めて欲しい。
- ・ 産業界との連携にあたっては、福井大学だけではなく地域の他大学や自治体と連携して取り組むなどの工夫をしていくことが考えられる。
- ・ 博士前期課程、博士後期課程それぞれの学生の育成人材像をより明確化していくよう努めて欲しい。